

平成30年5月25日

北九州市立上津役中学校

校長 森 隆

No. 2

平成30年度 上津役中だより

風薫る季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。ゴールデンウィークも終わり、いよいよ本格的に学校の活動が活発になってきました。今月の30日から2泊3日で3年生の修学旅行、来月の13日から2泊3日で1年生のふれあい合宿があります。6月9日の土曜授業では生徒総会、20～23日には、全校一斉に期末考査があります。生徒の皆さんは、様々な行事やテストなどの準備と当日の本番に向けて努力することで、大いに成長します。是非、全力を尽くし自分の成長を実感してもらいたいと思っています。「努力は決して裏切らない！」

男子バスケット部、全力プレーに感動！

4月28日に、夏の大会のシード決めが本校でありました。正式な試合では、8分×4クォーターで約1時間かかるのですが、このシード戦は8分間×2クォーターのハーフゲームで、約30分間で終了しました。予選3チームリーグの初戦は、穴生中との対戦でした。前半は緊張のためか動きが堅く調子が出ませんでした。後半追い上げ20対21の惜敗でした。後半は、すごい集中力で「勝ちたい！」という思いが観ている我々にも伝わってくるほどの素晴らしいプレーでした。【右から森君、石田君、竹森君(白)の懸命なディフェンス】

次の本城中との試合は、パスやシュートのイージーミスが響いて点差を付けられました。しかし、最後まで諦めず1点でも2点でもゴールを狙いに行く全力プレーには、感動させられました。監督の三船先生は、「今回のシード戦は夏の大会の半分の時間で、穴生中・本城中合わせて、1試合分の時間です。穴生中、本城中の連続試合で集中力と体力が持たないのが、課題です。」と言われていました。その言葉の裏には、三船先生の「今までよく頑張ってきた。後一步頑張っって市内大会に出場させてあげたい。」という深い愛情と熱い思いが込められていました。これから、夏の大会までにこの課題を乗り越えるべき厳しいトレーニングに耐え、市内大会出場を目指して頑張っって欲しいと思っています。その努力の過程がバスケット部員一人一人の人間的な成長に繋がるのです。



女子バレー部、市民体育祭大健闘！

【橋本さんの重心の低いナイスサーブカット】



4月28日と29日に、市民体育祭が永犬丸中と黒崎中で行われました。初戦は穴生中と対戦し、セットカウント2-0のストレート勝ち。しかも25対13、25対6の大差で勝利しました。2試合目の相手は、今回のシード戦で西区準優勝の永犬丸中。0-2のストレート負けでしたが、内容は接戦でした。2日目は、優勝チームの千代中でした。監督の木下先生は、「今まで力の差がありすぎて本気で戦ってくれなかった千代中が本気で勝ちにきました。上津役中もかなり伸びてきました。」と嬉しそう

に語ってくれました。私も、昨年度新チームになってからの技術の伸びは、どのチームよりも大きいように思います。しかも、交代した選手が必ず活躍するチームワークの良いチームです。日頃の真面目で、地道な練習の成果が表れています。夏の大会では、この積み上げに自信をもって臨んで欲しいと思います。

男子バレー部市民体育祭、試合をする度に成長しています！

女子と同じく 28 日と 29 日に、市民体育祭が行われました。1 日目は、本城中と千代中と対戦し、1 勝 1 敗でパートリーグ 2 位で 2 日目の準決勝に臨みました。強豪則松中との対戦しましたが、惜敗。3 位決定戦では、前日負けている千代中との対戦でしたが惜敗し、市民体育祭 4 位で終わりました。しかし、私は昨年度から男子バレー部を観てきただけに、一人一人の成長が著しく、特にこの日の 3 年生のプレーに感動しました。

【園川君のスパイクで、全員がブロックかバー】



試合を経験する度に成長しているので、他のチームの先生方が「あのプレーはすごいね。まだまだ伸びるね。」と褒めてくださいました。本校男子バレー部が、いかにも楽しそうに試合をしているのを見て、感激しました。これからは、試合に負けた課題を克服するために試合の時と同じような緊張感をもって練習する必要があります。夏の大会まで、大好きなバレーで勝利を収めるために、そして人間的に成長するために集中した練習ができると信じています。

2 年生、救命救急講習で、命の大切さを学びました。

5 月 10 日、3・4 校時に、八幡西消防署の消防士の方に来校頂き、救命救急講習を受講しました。人が意識を失ったり、大けがをしたりしたときの対処の仕方を学びました。また、なぜ救命救急が必要なのか、ということも詳しく教えて下さり、改めて命の大切さを学びました。特にポイントは、脳に酸素が送られなければ、脳細胞が壊死し、命を落としたり後遺症が残ったりするので、気道確保をすることとできるだけ早く心臓マッサージをすることが大切だという事が印象的でした。

そして、心臓マッサージや人工呼吸の仕方をダミーの人形を使って行いました。人形は、全生徒 145 体が準備され、全員が一斉に実体験することができました。本当に有意義な時間を過ごせたと思います。救命救急が必要になる場面は、一生のうちには 1 度あるかないかだとは思いますが、もしもそんな場面に遭遇したときは、この体験を大いに生かして、自信をもって対処してもらいたいと思います。

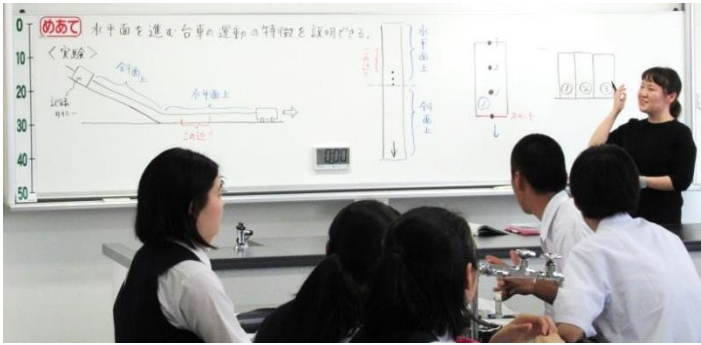
【ダミーをのり人形に対して、一斉に心臓マッサージをしている様子】



先生方も皆さんの将来のために、日々努力しています！

◇ 安田先生 6校時：3年2組の理科

【先生の板書を見せながらの分かり易い説明】



【全員の先生が、各グループで真剣に話し合いを！】



5月16日の6校時に教育委員会の方をお迎えして、先生方の授業力を高めるために、3年2組の生徒に安田先生が理科の研究授業を行いました。その授業を全ての先生が参観しましたので、3年2組以外の生徒は全員下校としました。その後、その授業の研究協議を全職員で行い、日常の先生方の授業について話し合い、大いに学び合いました。安田先生の授業テーマは、「生徒が生き生きと主体的に学ぶ場面を位置づけた授業の工夫」で、様々な工夫を凝らした素晴らしい授業を展開してくれました。特に、実験の処理の仕方の説明と板書が分かり易く工夫されていました。また、「発表する人の顔を優しく見てあげて」と言われる安田先生からは、発言者の気持ちとそれを思いやる学級の雰囲気を大切にする温かな心を感じました。

放課後の研究協議では、生徒の皆さんに学力を高めてもらうため、学習の面白さを知って自ら学習に取り組むようになってもらうために先生方も真剣に話し合いました。

また、5月21日には、1日で3名の先生が研究授業を行いました。全職員が3グループに分かれてそれぞれの授業を参観し、放課後に研究協議をしました。上記の安田先生の授業と同じように、先生方の素晴らしい授業を観て、授業の進め方や指導の工夫を自分で考えたり人の意見を聞いたりして、自分の授業力向上に役立てていきます。

◇ 豊田先生 1校時：1年1・2組男子の保健体育

めあては「チーム（学級）の課題をみつけ、改善し、プレテストに合格する」で、豊田先生からは「プレテストに合格するためには、80点取らなければならない。80点とれるように頑張ろう」と生徒に声をかけ、授業が始まりました。単元は集団行動で、1列から2列、2列から3列などの列の増減や一糸乱れぬ行進などを表現する内容でした。1組と2組の2グループに分かれて学習する形態で、先生が大きな声で指示する受け身の授業ではなく、自主的に生徒が動く素晴らしい授業でした。集団行動のプレテストでは、どちらも緊張感をもって真剣に取り組み、頑張っている姿が印象的でした。1組87点、2組85点と両方合格しましたので、次回の授業は本番で90点以上がねらいだそうです。

【円陣で話し合う1組↓】



↑
【橋本君の号令で、美しい2組の3列横隊】



◇ 三船先生 4校時：2年2組の数学

めあては「スタートラインをどれくらいずらせばよいか、説明しよう」という授業で、「グラウンドに4
【答えを導き出そうと真剣に話し合う生徒たち】



レーンのトラックを作るには、スタートの位置をどのように決めたらよいか？」という課題を生徒に投げかけました。具体的な内容を解決するために、生徒が意欲的に授業に取り組みました。先生の出された課題を真剣に考え、答えを導き出そうとする学習意欲に感激しました。また、三船先生は、めあてやポイントとなる言葉を掲示し、見やすい板書で説明されました。そして、問題に対するヒントの出し方が的確で生徒が自分で気づけるように工夫されていました。

三船先生は、日頃の授業から様々な工夫で、視覚的に訴える素晴らしい授業を展開しています。

◇ 大村先生 5校時：1年1組の社会

【班で話し合った事をきちんと発表する上園君】



めあては「なぜ平城京は作られるのだろう」「貴族の人々の生活はどのようなものだったのだろう」という授業でした。先生の明るい表情と優しい声かけで、生徒が生き生きと授業を受けていました。また、様々な場面で工夫が施された授業でした。授業の冒頭、リズム良く中国の歴史の国名を「殷」「周」…と暗唱。次に日本の歴史の時代名を「旧石器」…「奈良」「平安」…と暗唱。今まで学習した生徒の記憶を喚起しました。そして、本日のめあてにつながる「奈良時代：平城京の勉強をします。」という展開は、圧巻でした。その後、めあてに沿った話し合い活動で活発な意見を出し合い、

生徒一人一人がよく考え発言する素晴らしい授業が行われました。

◇ 全ての先生方による研究協議

上記の3名の先生方の授業を全職員が3グループに分かれて、参観しました。その後、研究協議を行いました。先生方も生徒の皆さんの授業と同じようにグループに分かれて話し合いを持ちました。話し合いの視点は、「生徒が『教え合う』『話し合う』『説明し合う』活動を位置づけた学習指導の工夫」です。

【大村先生の授業グループ協議の発表をする吉田先生】



【三船先生の授業グループ協議の発表をする原田先生】



グループでは、班長の先生が司会をして全員から意見を出してもらって内容をまとめました。最後にグループで話し合った内容の発表を聞き、自分の授業を振り返ることによって全ての先生方が大いに勉強になりました。